

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料



「ハイメディック東京日本橋コース」2020年6月検診開始

左：検診拠点の日本橋室町三井タワー、右上：受付、右下：MRI検査室

リゾートトラスト株式会社(証券コード4681)

目次

- ・2021年3月期第1四半期決算ハイライト、セグメント実績、BS/CF計算書 P. 2-11
- ・重点取り組み・コロナ対策、施設休業・運営状況、2021年3月期通期計画、開発スケジュール、在庫状況 P. 12-16
- ・中期経営計画「Connect 50」 P. 17-18
- ・ESGに関する当社グループの概況 P. 19-20
- ・参考資料 主な動き 各事業詳細データ P. 21-30

※直近3カ月の実績数値は、別途、オフィシャルHPに掲載しております
<https://www.resorttrust.co.jp/ir/library/supplementary/>

決算ハイライト(4-6月)

(百万円)

	2020年6月 実績	2019年6月 前年実績	前期比
売上高	23,416	39,258	△40.4%
営業利益	△ 884	2,442	△3,327百万円
経常利益	△ 400	2,557	△2,958百万円
当期利益	△ 1,810	1,492	△3,302百万円

<前年同期比>

当第一四半期は新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令、その後の施設クローズや個人消費自粛などによる影響を、ホテル運営、会員権販売、検診施設運営等の各事業において大きく受けた結果、減収減益となりました。

なお、特別損益において、「新型コロナウイルス感染症による損失」を計上しております。詳細につきましては、本日発表しておりますプレスリリース『特別損失の計上及び業績予想、配当予想の公表に関するお知らせ』に掲載しております。

※当資料におきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を、「当期利益」と表記しております。

事業別 売上高・営業利益(4-6月)

＜売上高＞

(百万円)

	会員権	ホテルレストラン	メディカル	その他		計
2020年6月実績	5,694	8,614	8,942	164		23,416
2019年6月前年実績	10,431	19,917	8,744	164		39,258
前期比	△45.4%	△56.7%	+2.3%	+0.0%		△40.4%

＜営業利益＞

(百万円)

	会員権	ホテルレストラン	メディカル	その他	本社費(間接費)	計
2020年6月実績	2,203	△ 2,347	1,027	72	△ 1,840	△ 884
2019年6月前年実績	3,278	12	1,206	75	△ 2,130	2,442
前期比	△32.8%	△2,360百万円	△14.8%	△3.6%	+290	△3,327百万円

対比数値は金額差異

＜参考：償却前セグメント利益※＞

(百万円)

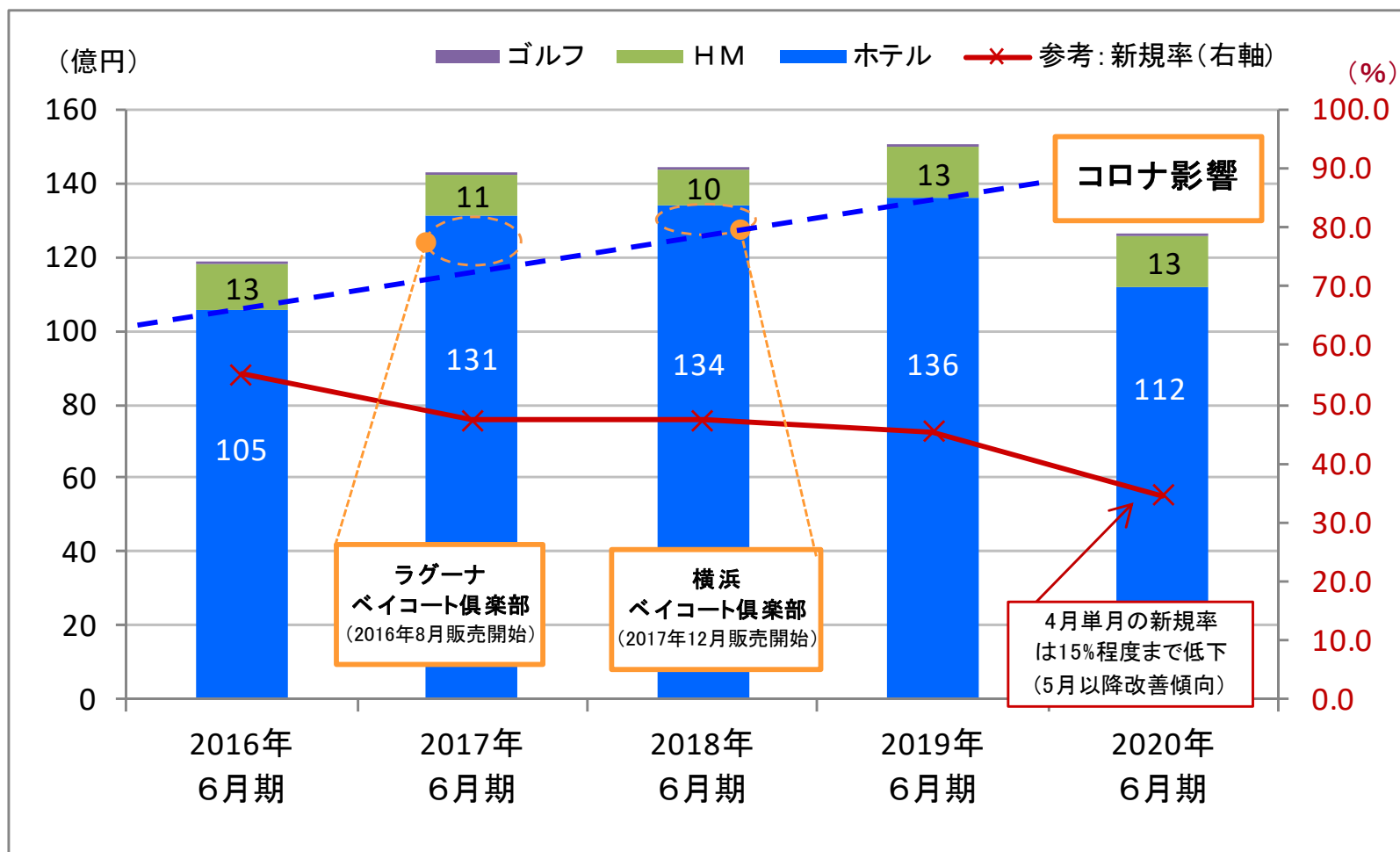
	会員権	ホテルレストラン	メディカル	その他	本社費(間接費)	計
2020年6月実績	2,217	△ 1,353	1,412	153	△ 1,374	1,054
2019年6月前年実績	3,290	1,504	1,593	158	△ 1,651	4,895
前期比	△32.6%	△2,857百万円	△11.4%	△3.7%	+277	△78.5%

※償却前セグメント利益(≒EBITDA) = 営業利益+減価償却費+のれん償却費にて算出

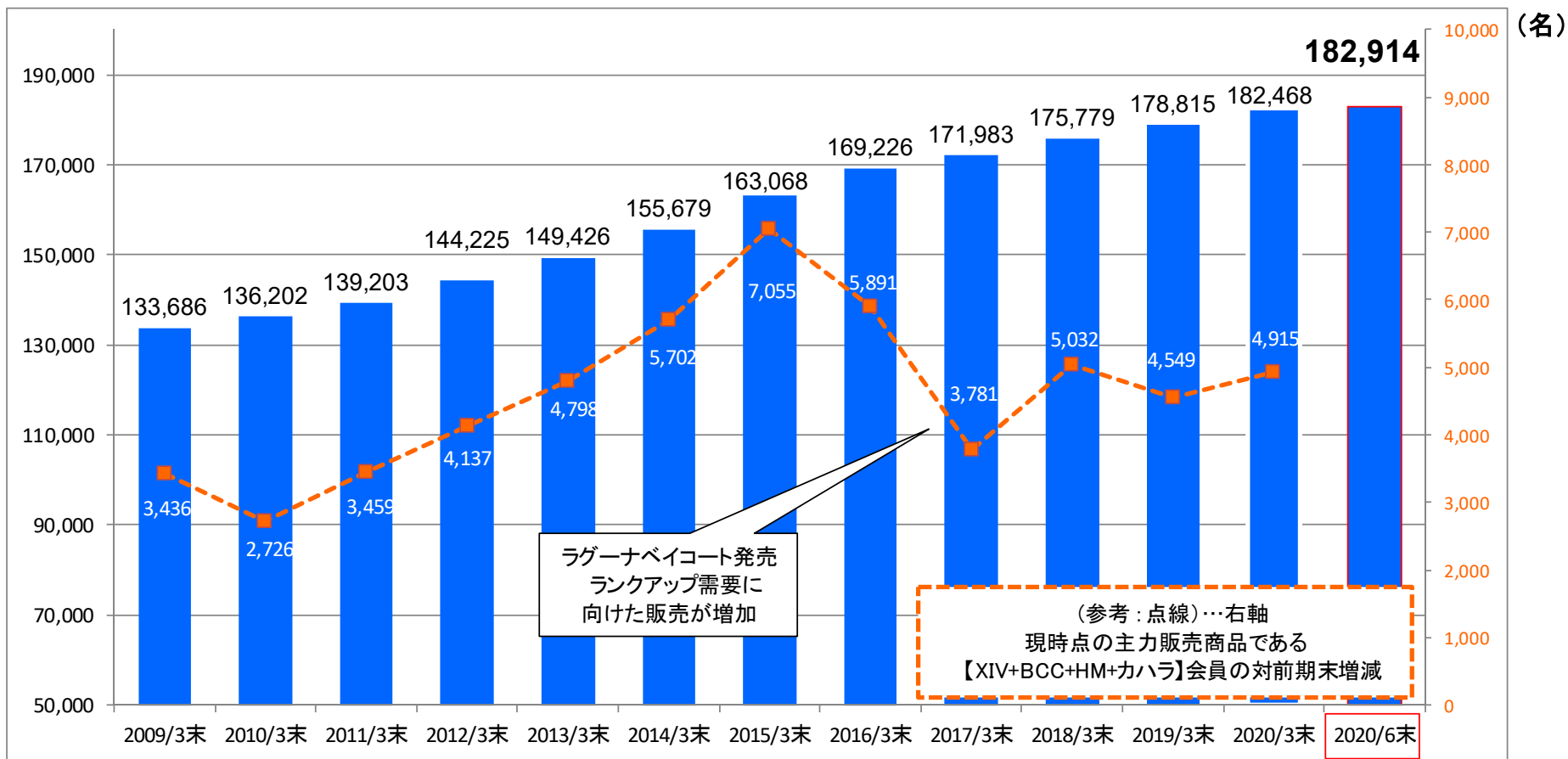
対比数値は金額差異

契約高の推移(4-6月)

- ・ホテル会員権契約高は、4月の緊急事態宣言発令後、営業活動を一部縮小した影響等により前年を下回り、新規顧客の獲得数は限定的となったものの、既存顧客を中心とした営業により前年比約8割の水準を維持。
- ・ハイメディックは、通期で過去最高となった前期とほぼ同水準で進捗し、堅調な推移となった。



会員数の推移



ラグーナベイコート発売
ランクアップ需要に
向けた販売が増加

(参考: 点線) … 右軸
現時点の主力販売商品である
【XIV+BCC+HM+カハラ】会員の対前期末増減

	ベイコート	エクシブ	サンメンバーズ	ゴルフ	メディカル	クルーザー	カハラ	合計
2020年3月末	20,507	77,982	31,485	30,001	21,534	381	578	182,468
2020年6月末	21,319	77,522	31,172	29,927	21,956	378	640	182,914
2020年6月期増減	+812	△460	△313	△74	+422	△3	+62	+446
2019年6月期増減	+603	+305	△257	△25	+491	+7	-	+1,124

XIV+BCC+HM
+カハラ 合計
+836

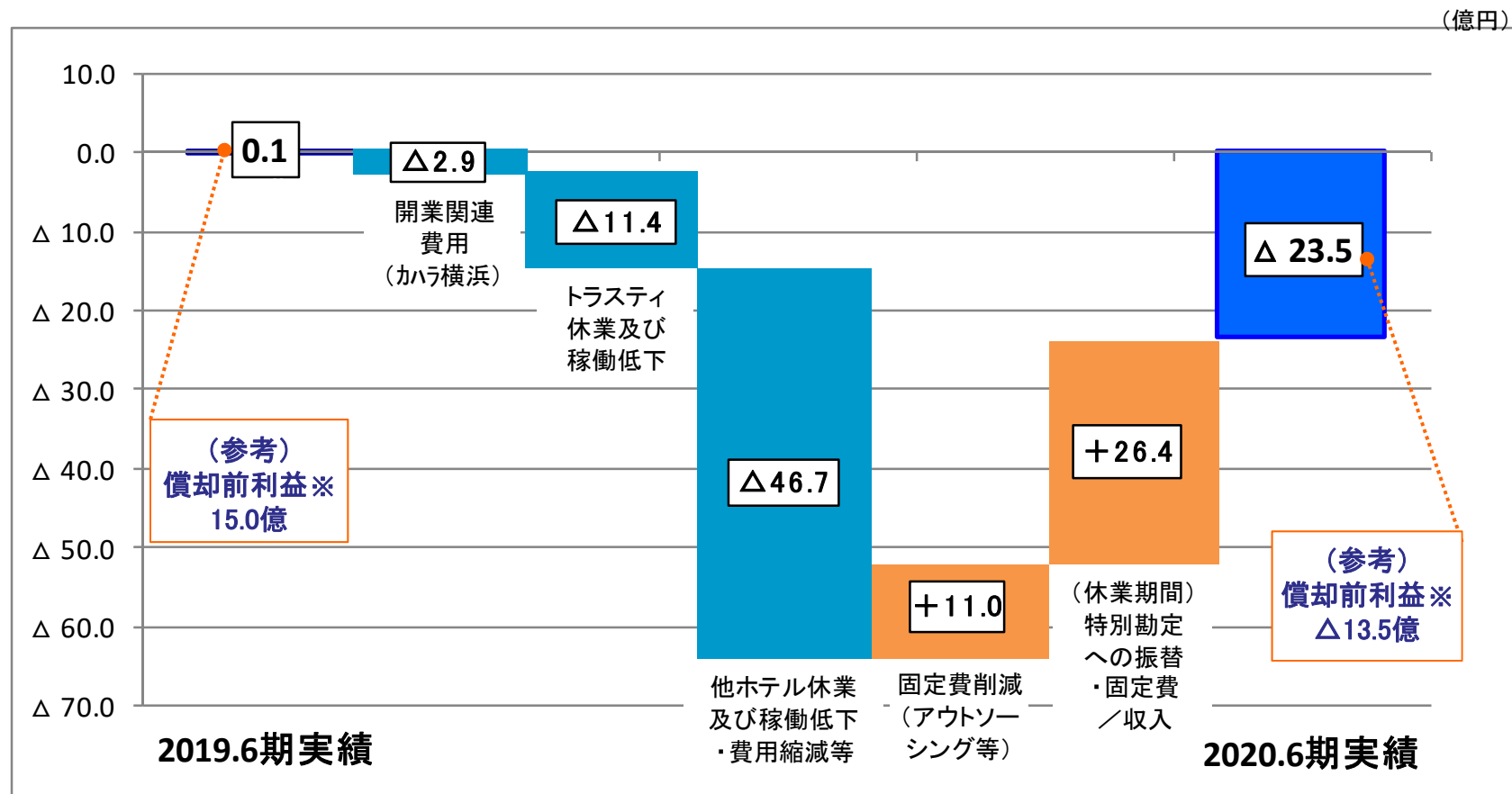
+1,399

※会員権を複数所有されているケースについては、それぞれの会員権で1名ずつカウントしております

2020年6月期（対前期）

ホテルレストラン等セグメント営業利益の状況

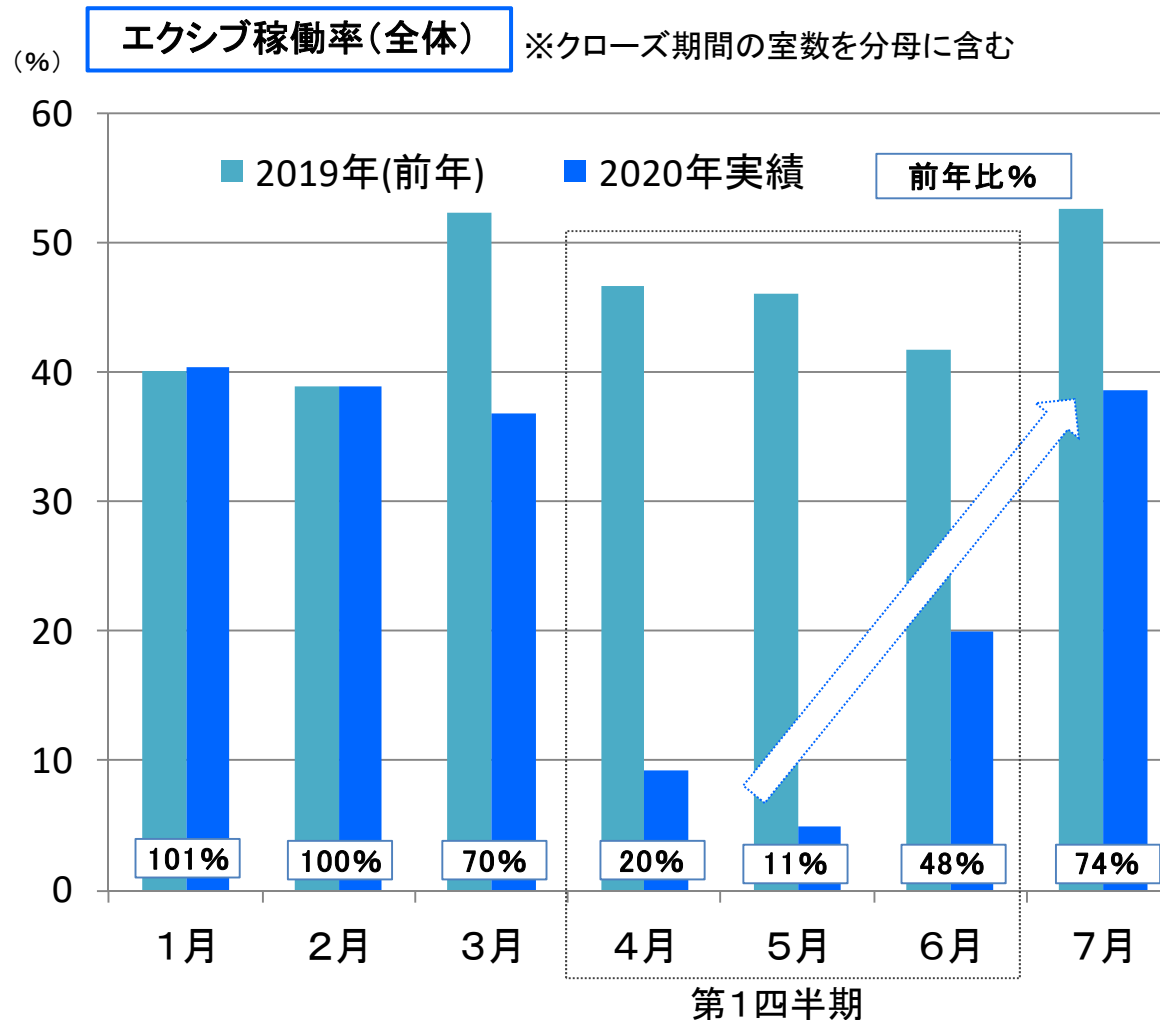
・当期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大きく営業利益が減少した。GW以降～5月・6月にかけて施設をクローズしたため（多くは6月より再開）、該当する固定費（及び対応する期間の収入＝年会費・保証金償却収入）を特別損益にて計上。他、外注業務関連の固定費や営業関連費用を縮減。



※償却前セグメント利益(≒EBITDA)は、営業利益+減価償却費+のれん償却費にて算出しております

月別 ホテル稼働率の推移①

エクシブ、ベイコート、トラスティの各ブランドでの月別稼働率を比較。クローズ期間の室数を分母に含むため、休業日数が多くなった5月に稼働率が最も低下した(前年比8~9割減)。その後会員制施設では比較的戻りが早いですが、ビジネス・インバウンド利用等が戻りづらい状況の中、トラスティの回復には時間を要する。7月中旬以降の感染数増加に際しては、新規予約の進捗がやや鈍化。



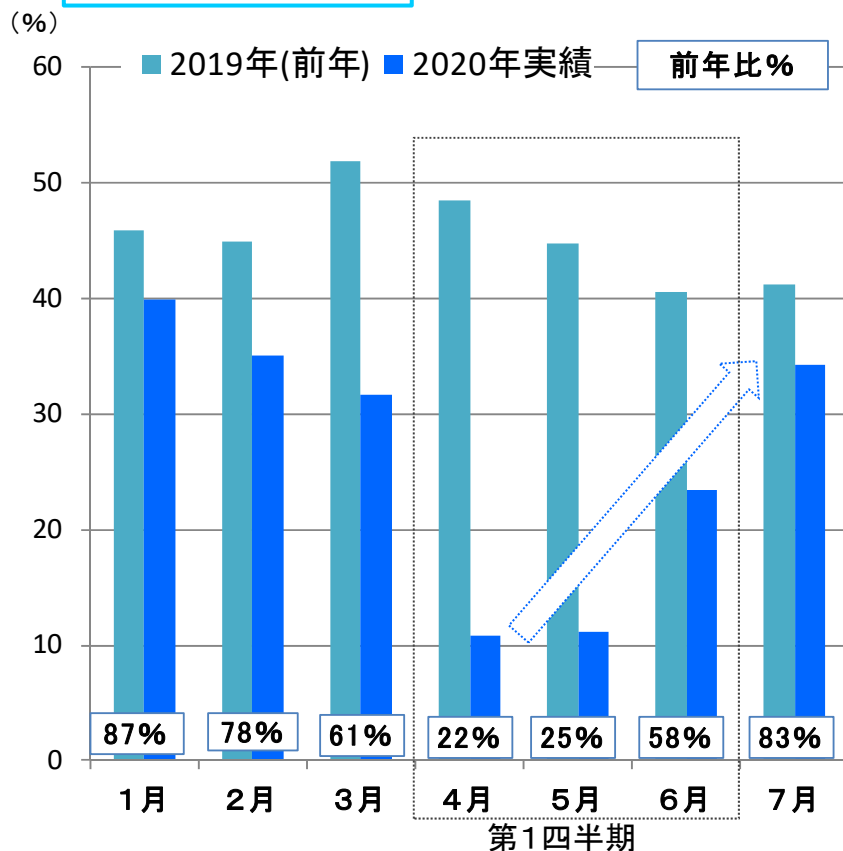
- ・3月時点では前年の2/3程度を維持していたものの、4月の緊急事態宣言後、大部分の施設が休業を余儀なくされたことで、稼働が大きく低下。
- ・6月には、多くの施設が営業を再開したものの、前年に対し5割減程度の稼働にとどまった。
- ・7月、全施設が営業を再開し、前年に対し3割減程度の稼働まで回復。利用単価は上昇している。

【8月度(8/1~31宿泊分)の予約状況】
 <7/1時点予約済> 25千室
 (前年同日時点:30千室 前年比 84%)
 ↓
 <7/30時点予約済> 63千室
 (前年同日時点:83千室 前年比 76%)
 ※7月中旬以降、再び感染が拡大してきたことを受け、予約進展がやや鈍化

月別 ホテル稼働率の推移②

ベイコート稼働率

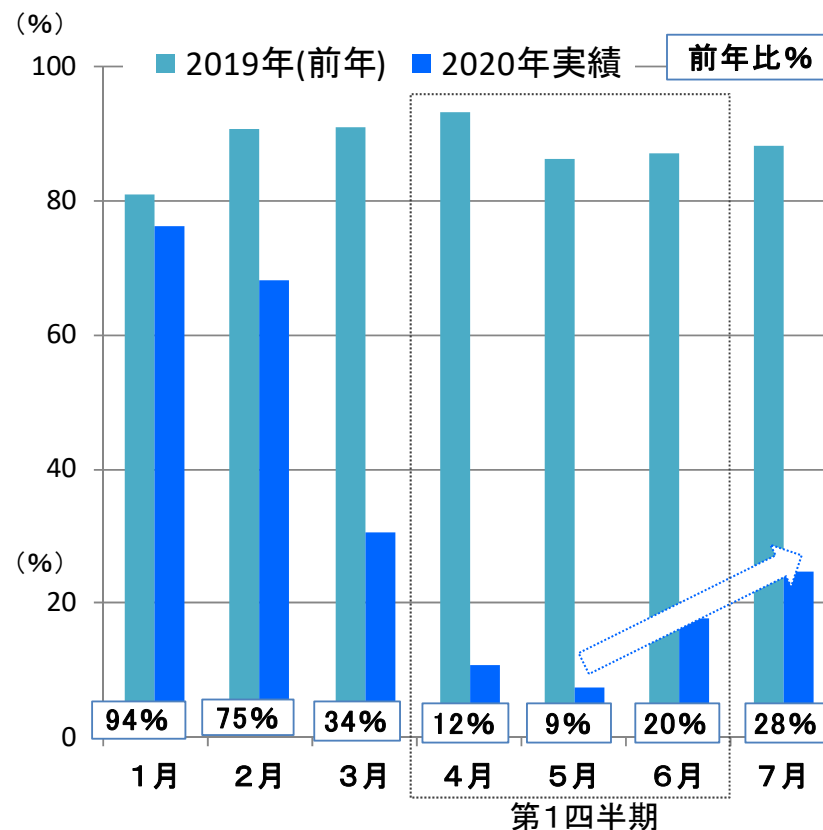
※クローズ期間の室数を分母に含む



・エクシブ同様、3月時点では前年の2/3程度を維持していたが、4月の緊急事態宣言後に稼働が大きく低下した。その後の回復は最も早く、足元、7月度の前年比では2割減程度の水準まで戻っている。

トラスティ稼働率

※クローズ期間の室数を分母に含む

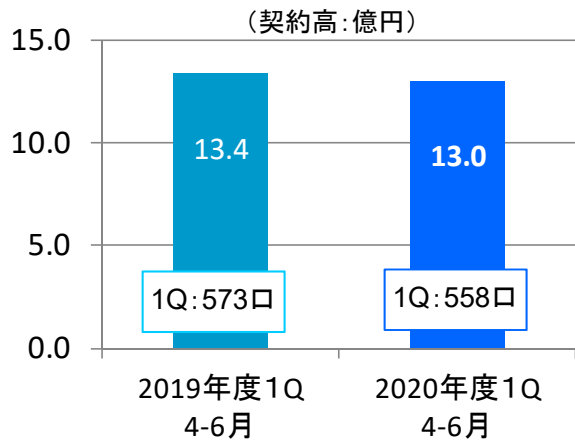


・コロナ感染拡大の影響を受けたのが最も早く、3月にすでに前年比1/3低下の稼働にまで低下。その後の4-5月に最も低い時期となり、6月、7月と徐々に上昇しているが、回復ペースは緩やか。

メディカル事業の状況

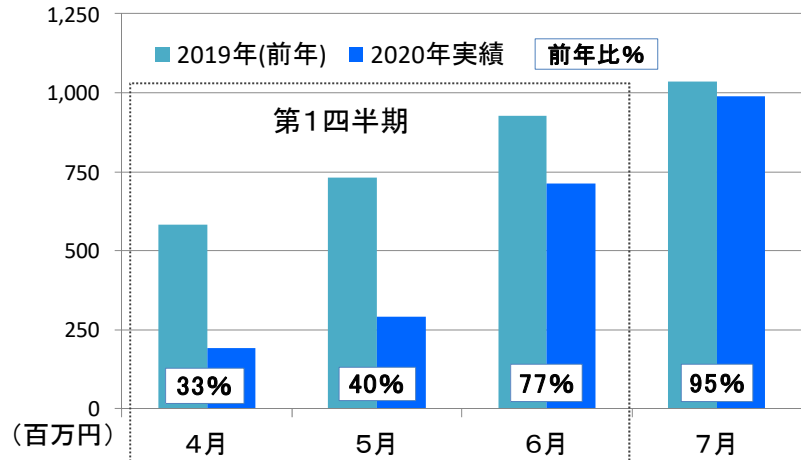
2020年6月期のハイメディック会員権は、引き続き販売好調。一般健診は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるクリニックのクローズ等の影響を受けたものの、足元では回復。シニア施設の新規入居に対し会員優遇プランを開始。

◆ ハイメディック会員権販売<前年対比>



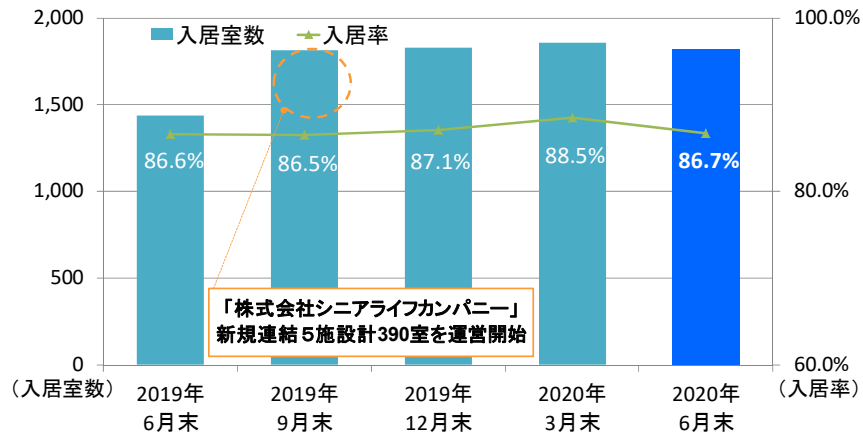
コロナ禍においてもニーズは堅調であり、前年と同水準を確保。

◆ 一般健診実績(医療法人社団 進興会)推移<前年対比>



1Qはクローズ影響を受けMS法人事業は減収。7月は前年比95%まで回復。

◆ シニアライフ事業の四半期別入居室数推移



「株式会社シニアライフカンパニー」
新規連結5施設計390室を運営開始

2020年6月末、前期末比の入居率で△1.8P。コロナ禍で新規入居への案内や部屋の改修がしづらくなったことが影響。2Qより会員優遇プラン(下取り/値引)を実施。

・日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック運営開始(2020年5月)

所在地 : 東京都中央区日本橋室町
三丁目2番1号
日本橋室町三井タワー 7F

<MS(メディカルサービス)法人事業>
企業健診や内科など一般の外来診療を行う「日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック」を、新型コロナウイルス感染予防を徹底した上で2020年5月以降、部門別に順次運営を開始。6月より同フロアにおいてハイメディック検診も開始。



ハイメディック個室

連結貸借対照表

(百万円)

	2020年3月期末 (前期)	2020年6月期末 (当期)	増減		2020年3月期末 (前期)	2020年6月期末 (当期)	増減
流動資産	125,296	148,568	+23,272	流動負債	67,192	75,070	+7,877
現金及び預金	21,164	36,853	+15,688	仕入債務	1,117	776	△341
売上債権	8,233	6,713	△1,520	借入金	8,107	11,207	+3,099
営業貸付金	53,549	54,148	+599	一年内社債	150	150	-
有価証券	499	499	-	未払金	15,632	13,299	△2,332
商品・原材料・貯蔵品	2,182	2,186	+3	前受金	22,028	25,747	+3,718
販売用不動産	22,077	22,387	+309	その他	20,155	23,889	+3,734
仕掛販売用不動産	12,357	17,368	+5,010	固定負債	200,649	228,460	+27,811
その他	5,231	8,411	+3,179	社債・長期借入金	31,316	62,833	+31,516
固定資産	275,537	285,064	+9,527	長期預り保証金	101,768	98,449	△3,319
有形固定資産	193,748	201,470	+7,721	新株予約権付社債	29,770	29,760	△10
無形固定資産	10,580	10,262	△318	その他	37,793	37,417	△376
投資その他の資産	71,208	73,332	+2,123	負債合計	267,842	303,531	+35,688
				純資産合計	132,991	130,102	△2,889
				株主資本	129,652	126,000	△3,652
				自己株式	△1,802	△1,795	+7
				その他の包括利益累計額	△50	788	+839
				新株予約権	313	313	-
				非支配株主持分	4,878	4,795	△83
資産合計	400,833	433,633	+32,799	負債・純資産合計	400,833	433,633	+32,799

連結キャッシュ・フロー計算書(4-6月)

(百万円)

	2019年6月 (前期)	2020年6月 (当期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,742	△ 8,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,055	△ 10,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,120	34,726
換算差額	△0	△ 3
現金及び現金同等物の増減額	5,321	15,711
現金及び現金同等物期末残高	29,216	37,088

事業別重点取り組み・コロナ対策

2020年3月期(中計2年目)

2021年3月期(コロナ対策等)

会員権

- ＜契約高の伸展＞ 契約高前期比+10%(ホテル)
- ▶ ラグーナ価格改定 ▶ 既存物件新商品:「バージョン20」発売
 - ▶ デジタル化推進等による時間生産性向上:前期比+10%
 - ▶ 「ザ・カハラクラブ ハワイ」販売開始:2/25~契約高19億

- ▶ 営業活動時における検温その他感染予防策の徹底
- ▶ テレワーク、一部休業等の柔軟な勤務に対する生産性の確保
- ▶ コロナ禍における、業種別の経済実態に応じたマーケティング

ホテルレストラン

- ＜稼働率向上策＞ ⇒引き続き対策強化が急務
- ▶ ポイント会員数:21万人 ▶ WEB予約:前期比+4P(16%⇒20%)
 - ▶ オーナーメリット向上、CSアップ:3月末時点前期比+0.11P
 - ▶ 大規模法人利用促進:前期比+8%(コロナ影響除く2月累計)
- ＜働き方改革・収益性の改善＞
- ▶ 生産性向上:年間シフト△80H(2,045H⇒1,965H) ▶ 固定収入増
- ＜ホテルトラスティプレミア進出＞(9月日本橋、10月熊本)

- ＜感染防止対策および三密回避対策＞
- ▶ 入館時の書面健康チェック、ノンストップ・チェックイン/アウト
 - ▶ ダチョウ抗体配合の空間ウイルス対策「V BLOCK Air」使用
 - ▶ ブッフェスタイル提供中止、夕食/朝食ルームサービス提供
 - ▶ 従業員の検温徹底、パブリックスペース等3時間毎の消毒
- ＜費用の抑制・運営施策＞
- ▶ 固定費を中心とした費用の縮減(50億規模)
 - ▶ 営業施設の一部集約(次頁参照)、宅配サービス等の検討

メディカル

- ＜ハイメディック販売拡大＞ 契約高前期比+8%
- ▶ 下半期、日本橋エリア新拠点の発売:10/16~501口
 - ▶ ハイメディックアプリ導入・サービス拡充:アプリ導入
 - ▶ インバウンド向け販売 ⇒コロナ影響見据え、継続検討
- ＜シニアライフ事業 施設数拡大・入居率向上＞
- ▶ 開業・取得施設のスムーズな運営:6施設、390室増加
 - ▶ 入居率向上策 ⇒営業人員増強、グループ会員向け強化
 - ▶ 新拠点の展開 ⇒コロナ影響を見据え、継続的に検討
- ＜BNCT事業＞ 研究機器納入、11月より治験:順調に進捗

- ＜感染防止対策および三密回避対策＞
- ▶ 感染管理のための物品確保(消毒、ゴーグル、防護服等)
 - ▶ (ミッドタウンクリニック)ホテル等グループの他施設と連携、対策指導と衛生管理の強化
 - ▶ (健診・人間ドック)状況に応じて稼働調整
 - ▶ (シニア施設)消毒徹底、面会、入館及び外出の制限等
- ＜グループ顧客向けサービスの充実＞
- ▶ 初診からの遠隔診療(4/24~5/7に実施)※従来は再診のみ
 - ▶ 感染対策メール相談、ポイント会員向け情報発信

本社

- ＜デジタル化、働き方改革の推進＞
- ▶ 年間休日数増加:110日⇒120日
 - ▶ ITの徹底活用:デジタルマーケティング活用による会員権販売
前期比+160%(2019.3=6億⇒2020.3=16億)
 - ▶ 本社間接部門コスト見直し:本社費減少(継続的に削減)

- ▶ 安定資金確保のための特別融資(銀行借入)の実行
- ▶ コミットメントライン借入枠800億設定済 ※震災・買収用300億含む
- ▶ 役員報酬一部返上・減額その他、各種費用の縮減
- ▶ 従業員への休業補償(国が定める最低保証の割合に対し上乗せ補填)
- ▶ 従業員に対するPCR検査、抗体検査の実施

コロナ影響による施設休業・運営状況

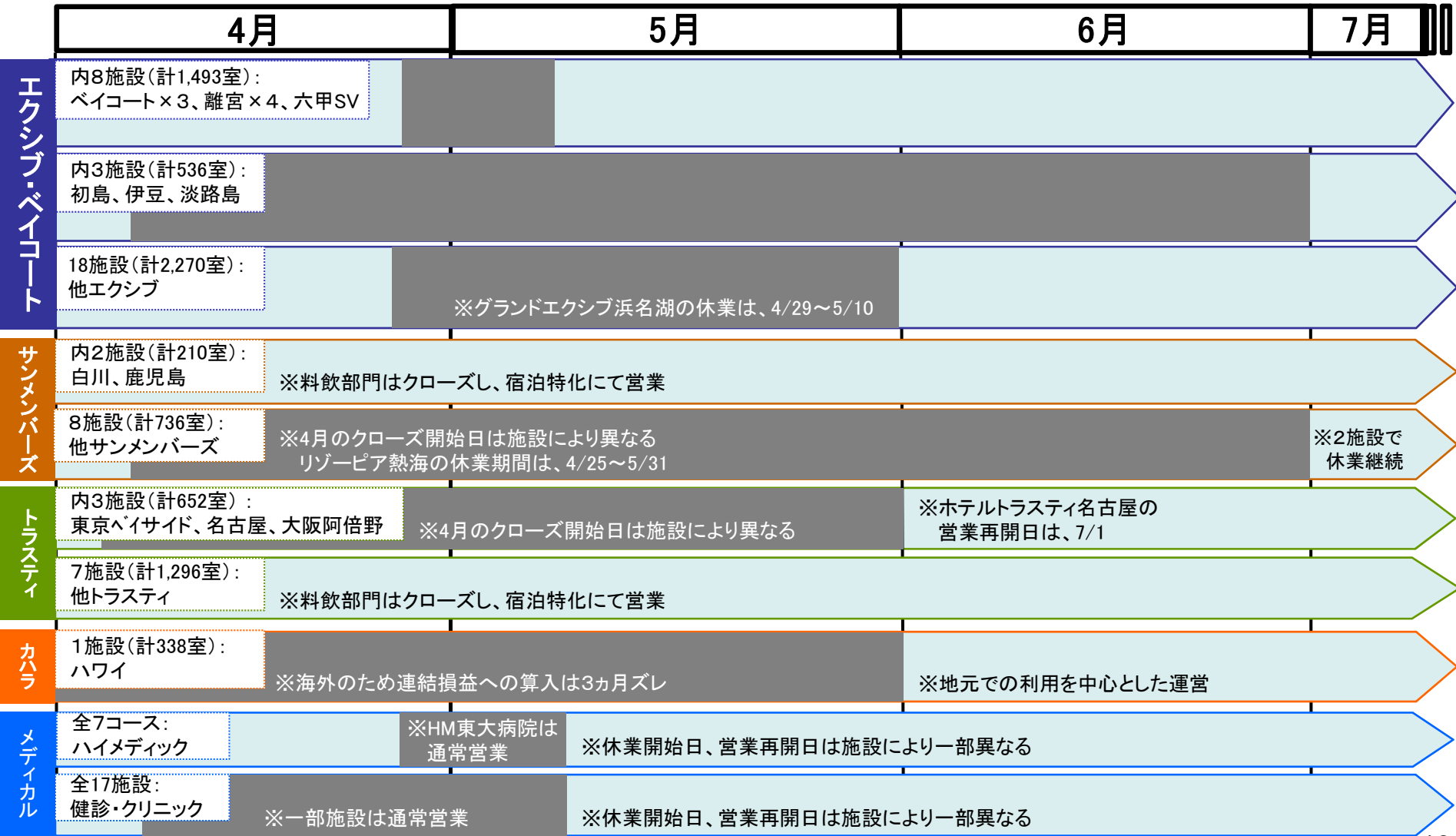
◆第1四半期における主な施設の運営・休業状況

…運営

…クローズ

※今後の予定、直近の状況及び詳細情報は、当社オフィシャルホームページ「おしらせ」にてご確認ください

※運営施設においては、お客様・従業員の安全のため衛生強化に努めております(ご参考:リゾートトラストの感染予防策 <https://rt-clubnet.jp/hotels/sp/measures/>)



※5/1時点での未開業施設を含まず

2021年3月期 通期計画

＜連結損益＞

(百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	差異
売上高	159,145	158,000	△ 1,145
営業利益	11,652	6,300	△ 5,352
経常利益	12,476	7,800	△ 4,676
当期純利益	7,135	3,200	△ 3,935
一株あたり 当期純利益(円)	66.65	29.89	△ 36.76
一株あたり 配当金(円)	40	20	△ 20

＜セグメント売上/営業利益＞

(百万円)

		2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	差異
会員権	売上	38,948	57,300	18,352
	営業利益	13,559	15,800	2,241
ホテルレストラン	売上	80,659	61,900	△ 18,759
	営業利益	92	△ 6,300	△ 6,392
メディカル	売上	38,867	38,100	△ 767
	営業利益	5,829	4,400	△ 1,429
その他	売上	670	700	30
	営業利益	663	600	△ 63
本社費(間接費)	営業利益	△ 8,491	△ 8,200	+291
合計	売上	159,145	158,000	△ 1,145
	営業利益	11,652	6,300	△ 5,352

＜対前期変動要素の主な内容＞

＜売上高/営業利益＞

- ・前期繰延実現(開業による繰延収益計上、期中繰延除く)
2020.3期:なし
2021.3期:横浜ベイコート 売上高202億、営業利益66億
- ・開業関連費用差異
2020.3期:トラスティ等 2021.3期:横浜ベイコート/カハラ
- ・減価償却費増加
横浜ベイコート/カハラ(開業後)、システム投資等
- ・年会費増加
横浜ベイコート(開業後)、HM・エクシブ会員増
- ・BNCT機器収入減少
2020.3期:売上高14億、営業利益2億 2021.3期:なし
- ・第1四半期クローズ期間の固定費等を特別損失にて計上
2021.3期:30億(施設固定費・年会費等固定収入)

◆ 新型コロナウイルスに関する影響の想定

・各指標の前提条件(前年同期比)

	1Q実績	2Q~3Q見込み	4Q見込み
ホテル会員権契約高	約2割減	概ね2割減	
HM会員権契約高	前年並み		
XIV・BCC稼働室数	約7割減	概ね2割減	※前年並み
トラスティ稼働室数	約9割減	概ね5割減	※前年並み
MS法人事業収入	約3割減	概ね前年並み	

※4Qはホテル稼働で、前年既にコロナ影響を受けた状況との比較

- ・他、固定費の削減、変動費の抑制を見込む
- ・再び全国規模での緊急事態措置が取られることを見込まず

開発スケジュール(進捗状況)

赤枠内表示は、本中計策定時を基にした想定であり、変更の可能性があります
(今後については、市場環境の変化等を見据え、継続的に検討)

<販売および開業スケジュール_2020年8月7日時点>

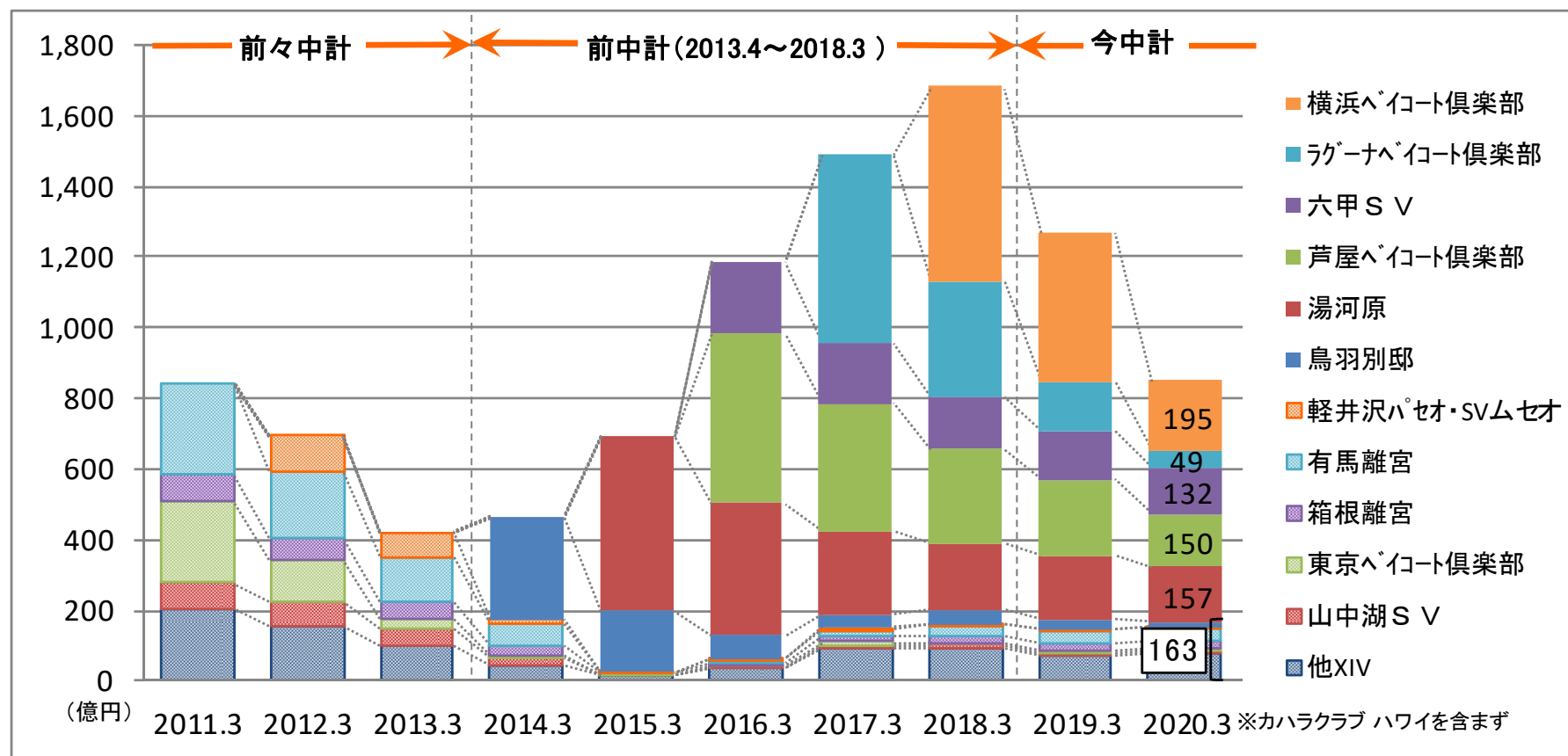
● 販売開始 ● 開業・取得 ● リニューアルオープン

中計		前中計「Next40」					本中計「Connect 50」				
年度		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
販売・開業 スケジュール	会員制 リゾートホテル	● エクシブ鳥羽別邸 → ●		● エクシブ湯河原離宮 → ●		● 声屋ベイコート → ●		● エクシブ六甲SV → ●		● ラグーナベイコート → ●	
							● 横浜ベイコート → ●				
							● カハラクラブ ハワイ → ●				
							● 関西 → ●				
							● 関東 → ●				
開業 スケジュール	ラグジュアリー (LH)						● カハラ横浜 ● LH① ● LH②				
	ホテル トラスティ (HT)	● 金沢				● 白川				● 日本橋浜町 ● 熊本	● HT① ● HT②
	会員制 検診クラブ	● ミッドタウン				● 京大病院 ● 東京ベイ ● 名古屋				● 東京日本橋	(既存施設キャパ増)
	シニア レジデンス (SR)	● 御影 ● 東横町	● 等々力 ● 本郷	● 常盤松	● アクティバ琵琶 ● 四葉烏丸	● 馬車道 ● 白壁 ● 荻窪 ● 5施設※				● SR① ● SR② ● SR③ ● SR④ ● SR⑤ ● SR⑥	
リニューアル	● 箱根				● 別府 ● 白川 ● 鳥羽				● 熱海 ● 新宿		

※ 介護付有料老人ホーム「フェリオ多摩川」、「フェリオ成城」、「フェリオ天神」、「フェリオ百道」、および住宅型有料老人ホーム「レジアス百道」

販売在庫（期末契約高ベース）の推移

- ・前々中計期間（2008.4～2013.3）、リーマンショックと震災影響により開発を後ろ倒しにしたことで、在庫を圧縮。
- ・前中計期間（2013.4～2018.3）、蓄積された需要に向け開発・販売を加速し、一時在庫は1,600億円超まで増加。
- ・今中計に入り、2年経過。販売在庫は2020.3末で846億円と、およそ2年分を保持。今期中の新規着工を検討。



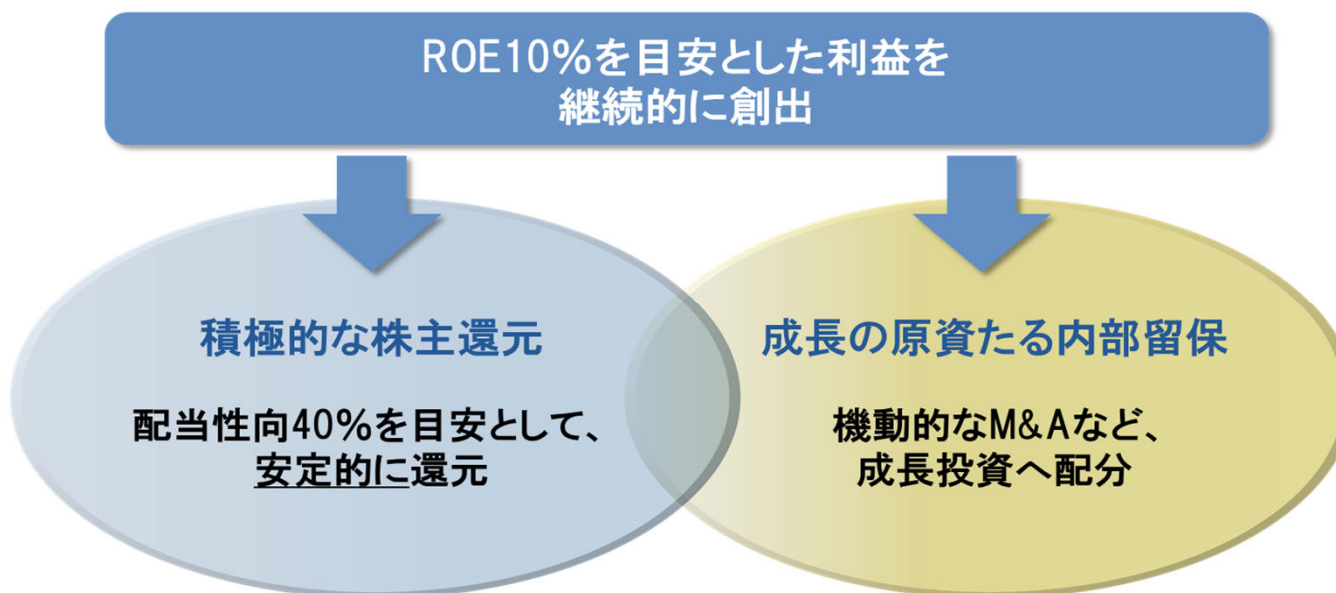
※取得済み開発用地：鬼怒川、千葉（雀島・保田）、軽井沢、箱根強羅、熱海伊豆山、浜名湖、高島（2020.3時点）

中期経営計画「Connect 50」定量計画

単位(億円)	2017年度 (前中計最終年度実績)	2022年度 (Connect50 最終年度)
売上高	1,654	2,100
営業利益	177	240
経常利益	194	240
当期純利益	118	160

＜2020年8月時点＞
今中期経営計画については、2021年度より適用開始される「収益認識に関する会計基準」の影響や、外部環境の変化を踏まえ、2020年度中を目途にローリングを検討しております。

2022年度 セグメント概況 (想定)	会員権:開業時繰延実現は減少するも収益規模維持	メディカル:セグメント利益100億円突破
	ホテルレストラン:売上高1,000億円突破・利益率8%目処	本社費:連結売上高の4~5%目処で推移



グループブランドの強化・浸透への取り組み

2019年4月、今中計「Connect50」のグループブランド強化・浸透への取り組みの一つである「RTTGポイントクラブ」をスタート。当施策をはじめ、お客様との接点を充実させていくことで、個別の事業・商品ブランドにおける価値創出にとどまらない「一生涯」を通じたお付き合いをさせていただける、唯一無二のグループブランドへ向けた取り組みを推進していきます。

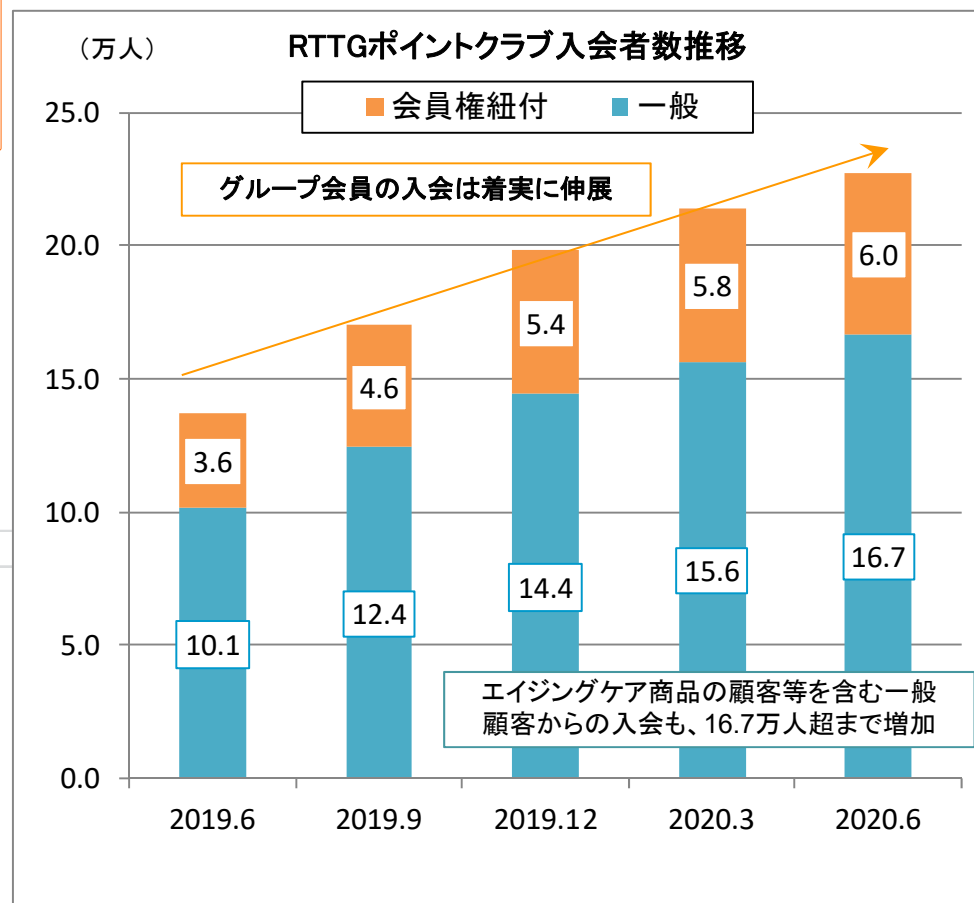
＜シナジー創出に向けた機能の活用＞

- ▶プッシュ通知⇒グループの様々なプランやキャンペーン情報等を告知。リアルタイムで利用を喚起する情報を発信。
- ▶グループ情報の発信⇒会員への認知向上に向け、グループの様々な商品、サービスの充実等に関する情報を配信。4月には、クリニックでのグループ会員向け遠隔診療サービス開始を告知。

ポイント獲得／利用対象



一般も含めたTotalのポイントクラブ入会は、2020.6末時点で約22.7万人（うち、会員権所有者については、約6.0万人まで増加）



ESGに関する当社グループの概況①

リゾートトラストグループ経営理念

ホスピタリティ憲章(行動規範)

中期経営計画「Connect 50」

今中期計画における環境認識(社会的ニーズ)

- ・富裕層および一般向け滞在・宿泊施設需要(国内・海外)
- ・観光立国、地方創生、働き手不足、ダイバーシティ推進
- ・ハイクオリティで安心なシニア向けサービス・施設の拡充
- ・健康の維持、早期発見による予防医療ニーズの高まり
- ・高度先進医療の研究開発、エイジングケア事業の展開



社会課題の解決
企業価値の
持続的向上

<ESG課題に基づく整理>

	当社グループ事業における重要性(リスクと機会)	個別取り組み事例
E (環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境との調和、生態系の保全 ・開発時の負荷低減、省エネルギー、省資源、リサイクル促進、汚染防止 <p><リゾート事業における美しい自然は、最も魅力のあるかけがえのない財産></p> <p>関連方針:環境方針(2005年制定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・LED化、メガソーラー、エコステイ ・エコカーの使用 ・おりがみアクション(生物多様性) ・レインフォレストアライアンス認証のコーヒー豆使用 ・開発時の植樹、グリーンキャンペーン 等
S (社会)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の推進等生産性向上による、働き手不足への対応 ・余暇・健康・美を創出するホスピタリティ産業における女性の活躍 ・世の中の変化のスピードに対応する人財の「多様性」 <p><グループの各事業で、「ホスピタリティ」が共通の強みとなる重要な理念></p> <p>中期目標:男性育児休業取得率50%(2024年3月)、女性管理職比率25%(2025年4月) 年間休日数(ホテル従業員)105日→120日(労働時間2,085H→1,920H)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用の充実(各種賞受賞) ・労働時間の見直し、削減、休日増加 ・ダイバーシティ推進室設置、活動推進 ・健康経営宣言、ホワイト500 ・くるみん認証取得、各種社内制度充実 ・システム化推進による働き方改革の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化・地方創生へ貢献、インバウンドに対応した施設の拡充 ・医療機関との共同研究・技術革新「がんで大切な人を亡くさない社会」へ ・介護施設・サービスの拡充により安心して豊かな暮らしを創造 <p><余暇、健康、医療に関するサービスを通じ、お客様のしなやかな人生に貢献></p> <p>今中計期間:芦屋・熊本・横浜等、地域・行政との調和・連携を重視したホテル開発 メディカル事業拡大による利益倍増(シニアライフ施設は約1,500室→3,000室へ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地採用(地域での雇用創出) ・地産地消、食育・地域活動 ・自然体験の企画、参加 ・施設、商品の安全・品質確保 ・健診設備充実、医療関連・介護施設の拡充 ・BNCT(がん治療)機器開発:2019年11月治験開始
G (ガバナンス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとの強固な信頼関係、各種リスクマネジメント ・経営の透明性確保(社外取締役比率向上、ダイバーシティ推進) ・独自性の高いビジネスゆえの企業経営としてのガラパゴス化リスクを防止 <p><信頼を失うことが、最大のリスク></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体制:監査等委員会設置会社 ・任意委員会:2(報酬諮問、指名諮問) ・社外取締役比率:35.3%、女性取締役比率:11.8% ・リスク管理委員会設置、体制の拡充

ESGに関する当社グループの概況②

<ESGに関連する社外からの評価>

(直近の取得)

	<p>2020年度「SOMPOサステナビリティ・インデックス」投資対象銘柄に2年連続選定 (損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント)</p>	<p>2020年 6月</p>		<p>次世代認定マーク「くるみん」を2019年に2回目の取得(厚生労働省) ※初回は2016年に取得</p>	<p>2019年 1月</p>																	
<p>MSCI日本株女性活躍指数(WIN)構成銘柄に選定</p>		<p>2020年 6月</p>	<p>平成29年度東京都障害者雇用優良取組企業 「障害者雇用エクセレントカンパニー賞」受賞(東京都)</p>		<p>2017年 9月</p>																	
	<p>健康経営優良法人認定を2017年より4年連続で取得 (経済産業省、日本健康会議)</p>	<p>2020年 2月</p>	<p>「平成27年度 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞(障害者雇用優良事業所)」を受賞 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構)</p>		<p>2015年 9月</p>																	
	<p>平成30年度愛知県ファミリー・フレンドリー企業表彰「イクメン・イクボス企業賞」受賞(愛知県)</p>	<p>2020年 2月</p>		<p>平成26年度ダイバーシティ経営企業100選 (経済産業省)</p>	<p>2015年 3月</p>																	
<p>「令和元年度 障害者雇用職場改善好事例」の奨励賞 (高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞)を受賞 (主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 後援:厚生労働省)</p>		<p>2020年 1月</p>	<p>「障害者雇用職場改善好事例」平成25年度最優秀賞 「厚生労働大臣賞」を受賞 (主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 後援:厚生労働省)</p>		<p>2013年 9月</p>																	
	<p>「ISO27001」(情報セキュリティマネジメントシステム規格)新たに本社・支社の一部にて取得(2015年~取得開始)</p>	<p>2019年 10月</p>	<p>障がい者雇用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>雇用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012</td><td>1.96</td></tr> <tr><td>2013</td><td>2.16</td></tr> <tr><td>2014</td><td>2.20</td></tr> <tr><td>2015</td><td>2.29</td></tr> <tr><td>2016</td><td>2.82</td></tr> <tr><td>2017</td><td>3.04</td></tr> <tr><td>2018</td><td>3.25</td></tr> <tr><td>2019</td><td>3.40</td></tr> </tbody> </table>		年度	雇用率 (%)	2012	1.96	2013	2.16	2014	2.20	2015	2.29	2016	2.82	2017	3.04	2018	3.25	2019	3.40
年度	雇用率 (%)																					
2012	1.96																					
2013	2.16																					
2014	2.20																					
2015	2.29																					
2016	2.82																					
2017	3.04																					
2018	3.25																					
2019	3.40																					
	<p>令和元年度「あいち女性輝きカンパニー」優良企業として選定(愛知県)</p>	<p>2019年 10月</p>	<p>「厚生労働大臣賞」受賞に関連した、天皇后陛下による東京本社事務支援センターへの行幸啓(当時)</p>																			
	<p>「健康な食事・食環境(スマートミール)」認証制度にて、弊社従業員食堂24か所が最上位の三つ星を取得</p>	<p>2019年 10月</p>																				

參考資料

<参考> 2021年3月期の主な動き

1. 日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニックオープン(部門毎に順次開業)。
・外来診療:5月11日サービス開始 ・健康診断/人間ドック部門:5月18日サービス開始
2. 会員制総合メディカル倶楽部「ハイメディック東京日本橋コース」検診開始(6月3日)
3. 完全会員制リゾート「横浜ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」および「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」
開業予定(9月23日開業予定)

※例年開催しておりました第28回「リゾートトラステディス」および会場を提供していた「ダンロップ・スリクソン福島オープン」の今年度の開催については、中止となっております。

<参考> 会員権契約状況(契約高)(4-6月)

(単位 億円)

	2020年6月 実績	2019年6月 前年実績	前年増減	※ 2020年6月 販売進捗率 (累計契約高)
ザ・カハラクラブ ハワイ	2	—	+2	—
横浜ベイコート	81	34	+46	81.8%
ラグーナベイコート	6	41	△35	97.5%
XIV 六 甲 SV	△5	3	△8	46.4%
芦屋ベイコート	31	22	+10	89.2%
XIV 湯河原 離宮	△9	6	△16	75.3%
他 既存 ホテル	6	30	△24	—
会員権セグメント計	112	136	△24	—
ゴ ル フ	1	1	+0	—
ハイメディック	13	13	△0	—
合 計	126	150	△24	—

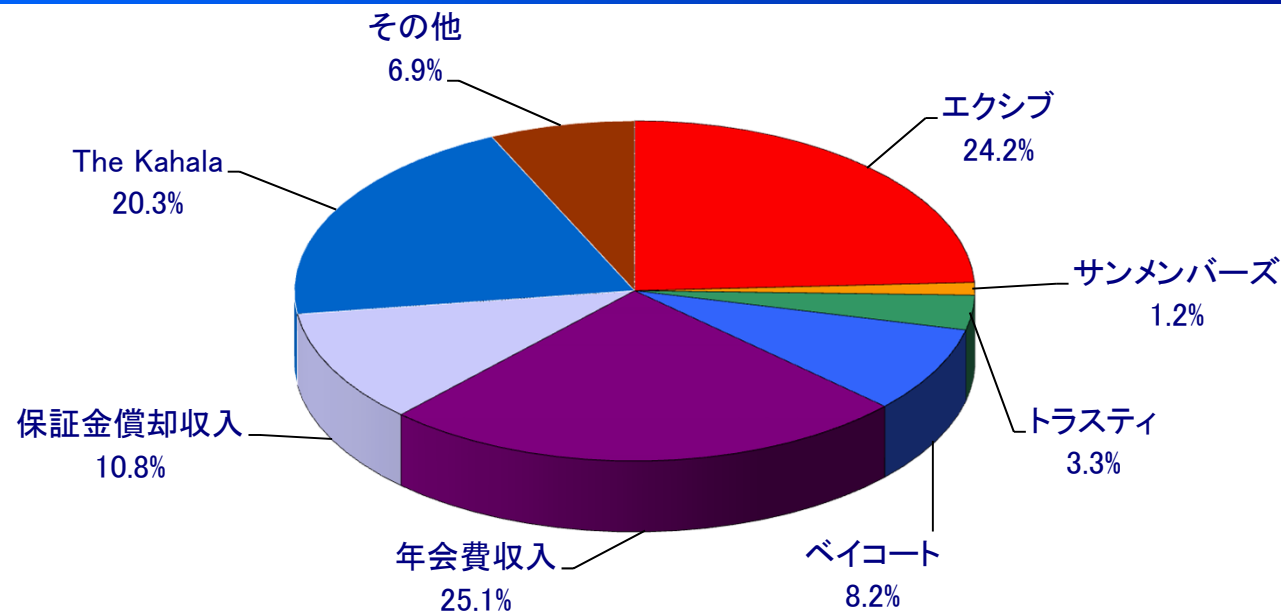
※ 当初総契約高(回収予定額)に対する進捗率

<参考> 会員権事業・物件別売上高(4-6月)

(単位 億円)

		2020年6月 実績	2019年6月 前年実績	前年増減
カハラクラブ		1	-	+1
横浜ベイコート		{ 70	{ 31	+39
ラグーナベイコート		5	37	△32
XIV 六甲 SV		△5	2	△7
芦屋ベイコート		28	20	+8
XIV 湯河原離宮		△9	5	△14
他既存ホテル		1	24	△23
ホテル会員権計		91	119	△28
繰延売上	横浜ベイコート	{ △36	{ △17	△19
	ラグーナベイコート	-	-	-
	XIV 六甲 SV	-	-	-
全ホテル計		55	102	△47
その他		2	2	△0
会員権セグメント計		57	104	△47

＜参考＞ホテルレストラン等事業・業態別売上(4-6月)



(百万円)

	2020年6月 実績	2019年6月 前年実績
エ ク シ ブ	2,086	7,740
サンメンバーズ	103	1,151
ト ラ ス テ ィ	284	1,612
ベ イ コ ー ト	703	2,329
年 会 費 収 入	2,126	2,090
保 証 金 償 却 収 入	878	893
THE KAHALA	1,748	1,880
※ そ の 他	683	2,219
合 計	8,614	19,917

※休業期間における収入につき特別損益項目へ振替
(年会費△873、保証金償却△359)

<参考>ホテルレストラン運営状況(4-6月)

<ホテル運営状況>

宿泊者数

(千人)

	2018年6月期 実績	2019年6月期 実績	2020年6月 実績
エクシブ	393	395	93
サンメンバーズ	100	101	5
トラスティ	171	170	26
ベイコート	48	71	22

稼働率

(%)

	2018年6月期 実績	2019年6月期 実績	2020年6月 実績
エクシブ	44.1	44.2	11.3
サンメンバーズ	56.9	60.8	4.5
トラスティ	90.3	88.7	11.6
ベイコート	43.5	44.6	15.1

<参考>

2020年6月 実績 (運営時のみ)
17.8
11.3
15.1
16.8

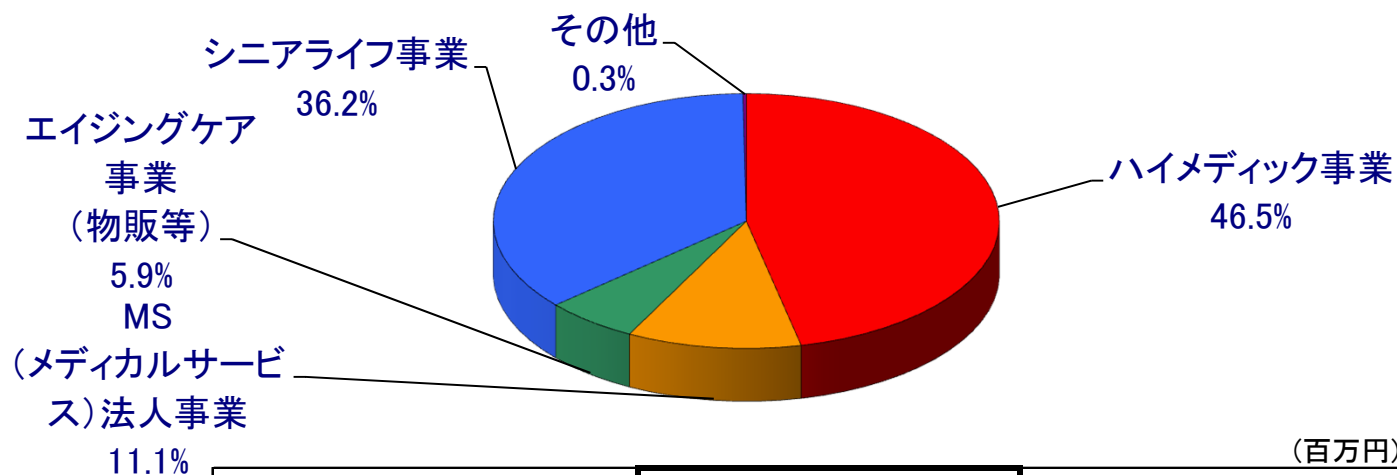
※クローズ期間を
算定分母から除く

消費単価

(円)

	2018年6月期 実績	2019年6月期 実績	2020年6月 実績
エクシブ	20,463	19,587	22,245
サンメンバーズ	10,871	11,375	8,145
トラスティ	9,776	9,476	10,696
ベイコート	34,776	32,482	31,286

＜参考＞メディカル事業・部門別売上高(4-6月)



(百万円)

	2020年6月 実績	2019年6月 前年実績
ハイメディック事業	4,159	3,982
MS(メディカルサービス)法人事業※	993	1,516
エイジングケア事業(物販等)	530	609
シニアライフ事業	3,239	2,684
その他(消去含む)	19	△48
合計	8,942	8,744

※一般向け医療施設運営支援等

＜シニアレジデンス運営状況＞


	2020年6月 実績	2019年6月 前年実績
全施設平均入居率(%)	86.7	86.6
居室数合計(室)	2,100	1,659

「トラストガーデン荻窪」運営開始(2019年8月)、新規取得5施設(390室)運営開始(2019年9月)

<参考>繰延収益(未実現収益) ※四半期ベース

《未開業物件の販売における計上方法》※詳細はP.30を参照

登録料: 契約時に「売上」に計上

不動産売上・不動産原価:  ホテル開業時まで繰延べとなる(契約時には収益計上されない)

※販売した期に不動産収益が計上されることを前提とし(±0)、繰延べられる期には△、実現する期には+として表記

(単位: 億円)

		2020年6月 実績		2019年6月 前年実績	
未開業物件 契約高		横浜	81億	横浜	34億
繰延(不動産売上・利益)		売上	利益	売上	利益
横浜ベイコート	繰延(△)	△ 35	△ 10	△ 16	△ 5

<参考>繰延収益(未実現収益) ※通期ベース

《未開業物件の販売における計上方法》※詳細はP.30参照

登録料: 契約時に「売上」に計上

不動産売上・不動産原価: ホテル開業時まで繰延べとなる(契約時には収益計上されない)

※販売した期に不動産収益が計上されることを前提とし(±0)、繰延べられる期には△、実現する期には+として表記

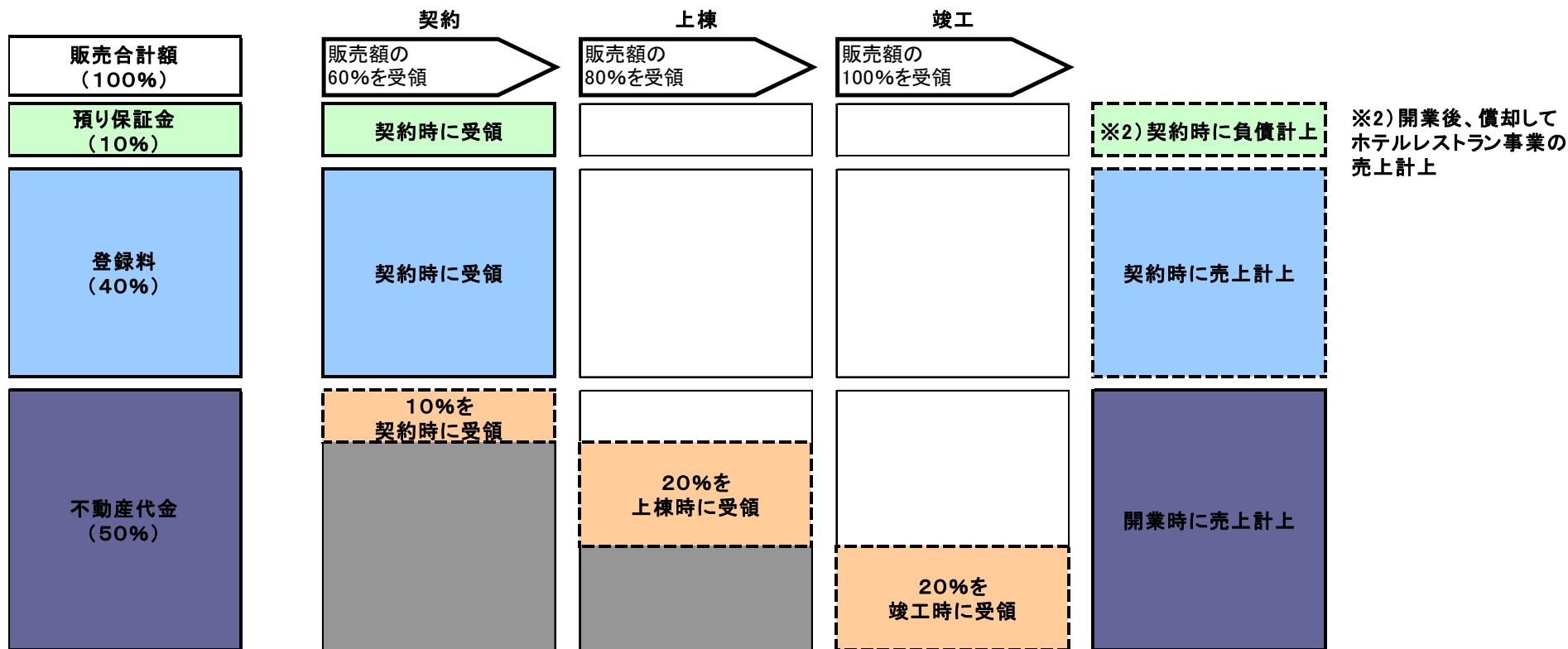
(単位: 億円)

事業年度	2015年3月期実績		2016年3月期実績		2017年3月期実績		2018年3月期実績		2019年3月期実績		2020年3月期実績	
未開業(繰延)物件 契約高	湯河原 鳥羽別邸	92億 118億	六甲SV 芦屋 湯河原	45億 301億 123億	ラグーナ 六甲SV 芦屋	200億 32億 125億	横浜 ラグーナ 六甲SV	72億 208億 25億	横浜	130億	横浜	227億
繰延(不動産売上・利益)	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益
横浜ベイコート							△ 35	△ 12	△ 62	△ 21	△ 105	△ 34
ラグーナベイコート					△ 102	△ 32	△ 104	△ 34				
XIV六甲SV			△ 21	△ 4	△ 14	△ 3	△ 11	△ 2				
芦屋ベイコート			△ 153	△ 54	△ 61	△ 22						
XIV湯河原離宮	△ 47	△ 13	△ 55	△ 17								
XIV鳥羽別邸 ※2014年3月期より 販売開始	△ 63	△ 17										
影響額合計(単年度)	△ 110	△ 30	△ 132	△ 46	△ 75	△ 23	+62	+34	+189	+61	△ 105	△ 34

※繰延実現利益(+)^{の実績値}には、予定原価と確定原価の差異を含む

連結業績ハイライト	2015年3月期実績		2016年3月期実績		2017年3月期実績		2018年3月期実績		2019年3月期実績		2020年3月期実績	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
開示数値(計上数値)	1,204	160	1,422	186	1,435	135	1,654	177	1,795	189	1,591	116
① 繰延(・実現)影響額を除いた数値	1,314	191	1,554	232	1,510	158	1,592	143	1,607	128	1,697	150
② ①+開業関連費用を除いた数値	1,314	191	1,554	238	1,510	170	1,592	162	1,607	144	1,697	160

<参考>ホテル会員権の計上(未開業物件の場合)



(例) 会員権価格が1,000万円のケース

	契約	上棟	竣工	開業	収益計上
預り保証金 100万円	100万円				※2) B/S負債計上
登録料 400万円	400万円				売上計上(契約時)
不動産代金 500万円	(*) 100万円	(*) 200万円	(*) 200万円		売上計上(開業時)
契約高合計 1,000万円	600万円	200万円	200万円		
売上計上額	400万円	0万円	0万円	(※1) 500万円	
				売上原価 350万円	
				年会費 13万円	

(※1) 不動産代金については、開業するまで繰り延べられ、開業時に売上計上。



RESORTTRUST GROUP

リゾートトラスト株式会社 IR部

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/index.html>

※ 本資料には、将来の業績に係る記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包する物です。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。